

分水嶺

寄贈は社員教育

▽…「子供は国の宝。何とか守ってほしいと伝えた」と振り返るのはプロセブン(大阪市)の小玉誠三社長。同社が開発した家具などの転倒を防止するマット1万4000枚、約3100万円分を広島市に寄贈。市は市立の幼稚園や小中学校などに配った。広島県の北



広島町出身だけに「真剣な思いを市が受け止めてくれた」と感慨深げだ。

▽…広島市の松井一実市長からは先月、感謝状を贈られた。阪神大震災で親友を失ったのをきっかけに転倒防止マットを開発、利益の一部で2年に1回寄付をしている。

「企業はもうけるだけではダメ」が持論で「社会貢献を続けることが社員教育にもなっていると思う」と付け加えた。